

めざめ

カウンセリング Q&A

娘の葛藤を知るとき

栃木県連合教育会相談員

Q 中2の娘に「お母さんに私の気持ちなんて分らない」と反発され、戸惑っています。

娘のA子は、元々穏やかな性格で、勝手気ままな夫や長男の言動にイライラしがちな私を「まあまあ」となだめ、愚痴を聞いてくれる存在でした。

そんなA子が、先日、珍しくイライラした様子で帰宅し、いつもなら手伝ってくれる夕食の準備やお風呂洗いをすることなく、部屋にこもってしまいました。何とか

イライラの原因を聞き出すと、A子はクラスメイトから推薦され、次の生徒会役員選挙に立候補することになったというのです。それを聞いた私は嬉しくなり「A子は今みんなから信頼されているんだね。」と言ったのですが、A子は陰しい表情で「みんなが私を推薦したのは、私なら断らないと思ったからだよ。役員に向いていても、役員をやるより受験勉強に集中したいと思う人が多いの!」と投げやりな言い方をするので、私は思

わず「やりたくないなら断ればよかったでしょ。はっきり意思表示しないA子が悪いよ。」と言ってしまいました。すると、そのあと返ってきた言葉が「お母さんに私の気持ちなんて分らない」だったのです。私は、やるせない気持ちになり、夫にこの件を話してみたのですが、夫は「A子も思春期か・・」と言うだけで、真剣に取り合ってくれません。母親として、このような状況にどう対処していけばよいのでしょうか。

A お話を伺ってまず感じたことは、これまでお母さんは家庭生活を回すために、たくさん努力されてきたであろうということですね。マイペースであり協力的とはいえないご主人や長男さんとの真っ向から対立せずにここまでやってこられたのは、お母さんの我慢と頑張りがあったからです。そして、そんなお母さんをいつも側で見てきたA子さんは、穏やかそうに見えても、実はとても感受性の強いお子さんではないかと

思います。お母さんの苦労を理解するからこそ、家事も手伝うし愚痴の相手もしてくれる・・・お母さんにとってA子さんは最強の味方であり救いだったことでしょう。そんなA子さんとの関係がぎくしゃくしてしまい、お母さんはさぞかし不安になっておられるのではないかと推察いたします。果たして、A子さんの言葉の裏にはどんな気持ちが隠れているのでしょうか。A子さんの発達段階も踏まえながら、じっくり考えてみましょう。

A子さんは、今、思春期真っただ中。この時期は、身体の変化とともに心の変化も著しく、子どもから大人に脱皮する時期とも言われています。ただ、脱皮の過程でさまざまな迷いや葛藤を経験するため、本人も苦しいことがありますし、はたから見てもとても不安定に見えるのが一つの特徴です。たとえば、これまで親や先生に導かれ教えられてきた価値観にも疑問をもち、新たな自分づくり

のために自問自答を始めます。「自分は一体どんな人間なのか?」「穏やかな良い人というのは本当か?」「頼まれたら断らない人は良い人か?」「断らないのではなく、断れないだけなのでは?」それではいいのか?」など……。自分の内面を見つめ始めたA子さんにとって、生徒会役員立候補の話は降ってわいた話ではありますが、葛藤のきっかけはそのようにいくらかもあるのです。

今、Aさんの心は揺れており、時に反抗的な態度をとることがあるかもしれませんが、それでも実は、自分を理解してくれる人を求めています。Aさんが話しかけてきたときが関係修復のチャンス。今度は、お母さんが根気よくAさんの話に耳を傾け、Aさんの気持ちを汲み取ってあげてください。「お母さんはどう思う?」と聞かれるまでは助言はせず、Aさんの話にじっくり付き合ってみましょう。そうしているうちに、Aさんの態度も軟化し、母親の関

係にゆるみも出てくることでしよう。

さらに、お母さんには次のようなことをお伝えしたいと思います。

◇ ありのままを受け止めて

今回、娘さんが揺れる心をお母さんにぶつけられたのは、そもそもお母さんへの信頼感があつたからだと思います。一緒に台所に立ち、たわいもない話をしながら家族の食事を作るその積み重ねは、きつと母親の心をつないでいるのだと私は思います。だからこそ、今は、葛藤し自分なりの答えを出そうとする娘さんのありのままを受け止め、焦らずに見守ってあげてください。

◇ 夫婦で協力するチャンス

子どもに困ったことが起きた時は「夫婦で協力するチャンス」ととらえることが大事です。不安定な娘さんの様子が心配になっても、そこは「どんとこい」というつもりで、しっかり向き合いたしましょう。毅然とした対応をとると、受容して甘えさせる対応をと

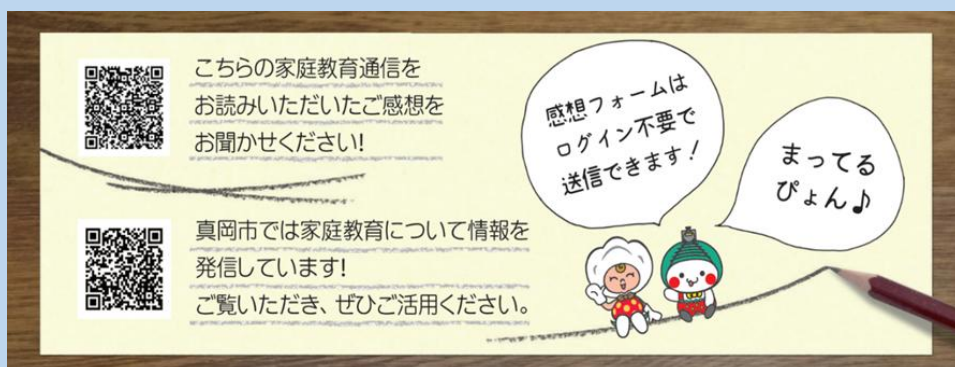
るところの両輪をもつことで、娘さんも安心して反抗でき、自立していきけるのではないのでしょうか。

娘さんに力を授けるためには、お父さんがお母さんを、お母さんがお父さんを大切にしているという気持ちで、日頃から態度で表すことが大切です。何気ない日常の中でも、家族に対して感謝の気持ちが湧く瞬間はあるはずです。こはぜひ息子さんも巻き込んで、「ありがとう」「サンキュー」「助かったあー」など、感謝を表現することから始めてみましょう。感受性の強いA子さんなら、家族の間で感謝の気持ちが素直に表現され始めたことに、誰よりも早く気づいてくれるに違いありません。

◇ 心のよりどころ

お母さん自身には、何か心のよりどころがおりでしょうか。たとえば、「旅行する」「花を育てる」「歌を歌う」「友達とのおしゃべりを楽しむ」など、好きな事で心を癒せると、悩みや心配事を抱えても、心を持ち直すことができます。

娘さんが自分のアイデンティティーを確立し、少しずつ親離れしていくように、お母さんも自分の世界を持ち、子離れの準備を始めていくことで、娘さんとの程よい距離が保てるようになることでしよう。



こちらの家庭教育通信をお読みいただいた感想をお聞かせください!

真岡市では家庭教育について情報を発信しています! ご覧いただき、ぜひご活用ください。

感想フォームはログイン不要で送信できます!

まってるびょん♪